片瀬のぞみだより（７月号）

日本基督教団片瀬教会付属
片　瀬　の　ぞ　み　幼　稚　園
家庭通信２０１６．№12

月主題聖句

『　探しなさい。そうすれば、見つかる　』

マタイによる福音書７章７

片瀬教会牧師　柴　　適

梅雨明け前の陽射しや雨が、畑の色づき始めたトマト、幹にしっかり摑まって姿勢よく立っているキュウリ、インゲン、大きくなってきたナス、丸さを増してきた南瓜、秋の収穫が楽しみなサツマイモ等の成長に欠かすことの出来ない恵みを与えてくださっていると思う時、天地万物、自然をも創造された神様に心からの感謝と喜びに満たされます。

今月の聖書は、イエス・キリストが山で、数千人の群衆に向かって初めてされた説教の中で、最も大切な黄金律(キリスト教倫理の原理)と呼ばれる聖書箇所です。月主題は『探究・心にとめて』です。探究とは『物事の真の姿を探って見極めること』です。『探しなさいそうすれば見つかります』は、『先ず探してみましょう、

そうすれば見つかります』の意味で、先ず行動して、一歩踏み出して探究してみることが大切であることを教えています。神様が創造された生き物を『ここにいるかなー』と一生懸命探し、見つかった時に驚嘆し、皆で心躍らせて喜んでいた男児・女児がいました。園舎隣の野菜畑で、ショウリョウバッタ、ダンゴムシ、ミミズなどをプラスチックケースに入れて、こんなに捕まえたよと見せに来てくれました。『もっと探して』と言うと草むら入り、ミミズを捕まえてきました。その姿と笑顔は、満足感で溢れているようでした。園児たちが自然を通して、何に関心を持ち、何に感動や喜びを感じ取るのかを、私達は敏感に気づくことが大切であると教えられました。感動や喜びは、高価さや大きさ、量の多さだけではありません。前ウルガイのホセ・ムヒカ大統領は『貧しい人というのは、ものをもっていない人のことではない。真に貧しい人というのは、際限なくものを欲しがり永遠に満たされない人のことである』と言われました。感動、喜び、満足感は、求め方によって全く違ってくるのです。神様が創造された、何処にでもいる昆虫、お金を使わなくても捕えられる昆虫の中にでも、真の神様への感謝、喜び、感動が無尽蔵に隠されているのです。又大統領は、日本の子供達に『君たちは今人生で最も幸せな時間にいる。経済的に価値のある人材となるための勉強ばかりして、早く大人になろうと急がないで、遊んで、遊んで、子どもでいる幸せを味わっておくれ』と言われました。学問や知識は、時が来れば、必ず必要になり学びます。今日も園庭でのプール遊び、泥遊びや水遊び、食器などを使っての食事作りや思い思いの遊びを見つけて駆け回っている園児たちの今の姿が、これから成長して行く長い人生の礎に神様が無限の愛をもって逞しく後押して下さっているのです。教師も保護者の皆様も共に協力し合って、お子様の正しい成長に参与して行きましょう。７月１３日で一学期が終業いたします。長い、暑い毎日になると思います。お子様とご家族皆様の健康が守られて、二学期に日焼けした笑顔のお子様をお迎え出来ますようお祈りしています。